



群れの中から荒れ狂う海に向かって始めに飛び出す 1 匹の勇敢なペンギンを指して「ファーストペンギン」というそうです。

一昨年～昨年に放送された朝ドラの中で五代さまが教えてくれたので間違いありません。(^^)

てことは最初に巣立った表紙の写真のツバメも「ファーストペンギン」!?

でも、ツバメをペンギンに例えるのは、なんかややこしいですね。

そういやツバメもペンギンもキャラクターにしたら似ちゃうんですね。^_^;



× ペンギン
○ ツバメ

◎ヤクルト球団
つば九朗の
缶バッジ デス

先日の 6 月 19 日のこと、ゴルフの松山英樹選手が全米オープンで 2 位の成績を収めたという、嬉しいニュースが飛び込んできました。それはあの青木功さん以来とのことです。

その青木功さんこそ、日本のゴルフを牽引し世界へ挑戦した、偉大な「ファーストペンギン」でした。

実はその青木功さんは僕が約 25 年程勤めた会社の当時の社長と懇意にされていたという縁があって、僕も会社のパーティかなんかでお話を聴く機会がありました。

その中で今でも覚えている青木さんの印象的な言葉があります。

「『心技体』って言うけど違うね。『体技心』なんだよ。まず体のコンディションが大事なんだ。」

当時の若い僕はその意味がよくわからなくて、別に「心技体」でいいじゃん、て思っていました。

でも、それから僕もそれなりに経験を重ねて、また年齢とともに自分や家族の体調に不安が出てきたり、悲しい不幸に接する機会も増えてきたり。(と書いてたら小林麻央さんの訃報が・・(>_<) 合掌..)

今ではパフォーマンスを発揮するには、まず「体」と言い切った青木さんの言葉を実感しています。

なるほど体と心は繋がっています。体に無駄な力が入って固くなったり疲れや体調に異変を感じたりすると、結局「心」にも、せつかく磨いた「技」にも影響するように思います。

健康や安全といったものは、かけがえのないものなんだって、ま、それが少しわかる年齢になったということなのでしょうね。



今、盛んに叫ばれている「働き方改革」には、働く人の健康の維持、管理といった目的があります。

高齢化は皆さんの職場においても進んでいるのではないのでしょうか。それだけでも健康リスクは高くなっています。これからの労働力人口減社会は、長時間労働を減らしたり休みを増やしたりして、介護や育児をしながらでも働くことができる企業体質にしながら、生産性を上げるという難しい時代です。

厚生労働省は「働き方改革」の各企業の成果を助成金に反映させることを発表しました。

「生産性要件」という考え方で、下のような計算式で算定されます。

$$\text{生産性} = \frac{\text{営業利益} + \text{人件費} + \text{減価償却費} + \text{動産・不動産賃借料} + \text{租税公課}}{\text{雇用保険被保険者数}}$$



支給申請ごとに、直近の決算と 3 年前の決算を比べて、例えば、生産性が 6%以上上がっていたら、支給する助成金を増額、生産性が上がっていなかったら減額する・・という考え方です。

この計算式の是非はともかく、「働き方改革」に前向きに取り組んでいる企業を国は支援しますという、姿勢が見て取れます。

先日僕も自身の健康のため、スポーツジムで水泳でもやろうかと家内と水着を買いに行きました。

安全策を取って LL を購入しようとしたら、「やる気ないやろ」って家内に怒られました。(*_*)

もちろん僕はそんなことはないよー！って全力で否定しました。

だって目指すはコウテイ(肯定)ペンギンではなく、ファーストペンギンですからね。



水泳パンツ